

## 事業の基礎情報

実施主体	見附市（担当：都市環境課）
事業実施地域	新潟県見附市
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	商業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	見附市地域公共交通活性化協議会、中越交通(株)、夜間ナイトデマンド飲食業組合、エヌシーイー(株)
運行形態	デマンド型乗合タクシー
運行主体	中越交通株式会社

## 取組の概要

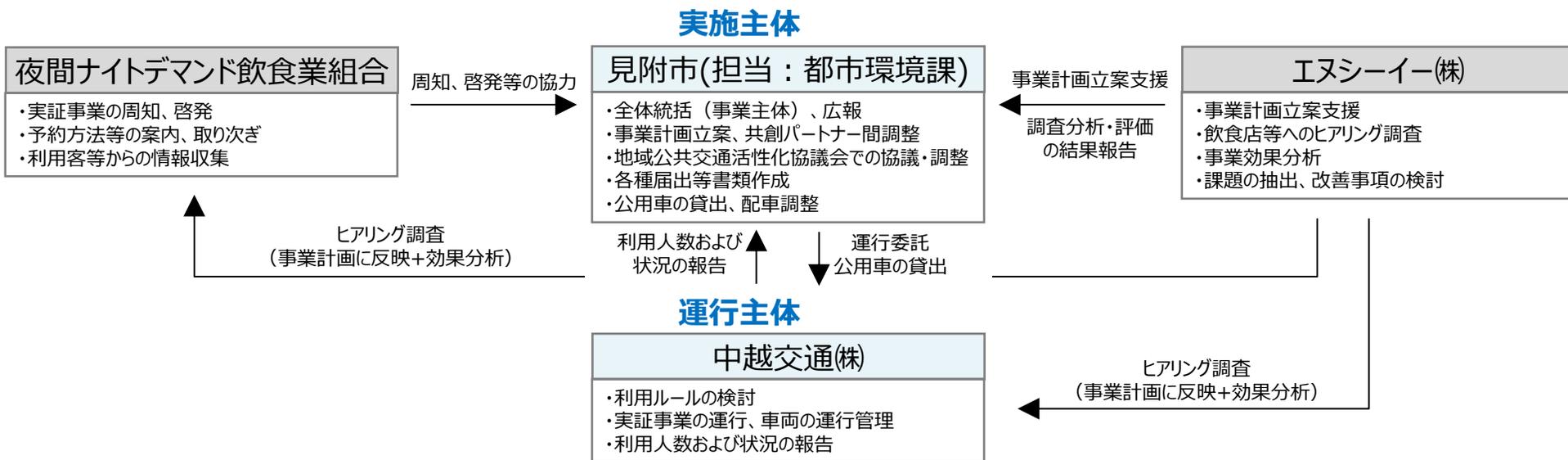
### （現状の地域課題と事業目的）

- ・市内では、コロナ禍後の飲み会需要が回復してきている一方で、公共交通の担い手が不足してきており、夜間の需要に対し供給が追いつかなくなっている。帰りの手段がなく飲みに行く機会が減少しているとの声も聞かれ、タクシー不足が地域経済に大きな影響を与えており、解決すべき課題となっている。
- ・既存タクシーによる顧客単位での輸送では現状を解消できないため、定時制の乗合タクシーを運行することで時間帯の移動需要を集約し、タクシー不足の解消につなげるとともに、地域経済の活性化を図る。

### （事業の概要）

- ・ドライバーは市内交通事業者、車両は市所有のハイースと、各々交通資源を出し合うことでリソース不足に対応する。
- ・予約型運行とし、複数の予約を受けた場合、AIでルーティングしそれぞれの目的地まで送り届ける。乗降場所は、乗車可能な場所を提携する飲食、宿泊事業者及び駅等地域の主要スポットとし、降車場所は自由とする。
- ・飲食事業者からは、当該事業の周知及び利用の促進を協力してもらうことで、交通需要の集約を図る。

### 事業の全体像・共創の仕組み



### 取組の詳細

#### (地域の関係者との連携・協働)

- ・市内全域に対して地理感を持ち、熟知している市内タクシー事業者と連携・協働し、円滑な運行業務を遂行してもらう。
- ・市内飲食店と連携・協働することで、利用者へ効果的に情報を周知・啓発し、交通手段としての選択機会を増加させるとともに、交通需要の集約化を図ることが可能となる。また、飲食店と連携・協働することで細やかな利用動向の把握が可能となり、交通系コンサルによる効果分析や改善事項の検討をより効果的に行うことができる。

#### (実証事業により見込まれる効果)

- ・夜間の交通手段の確保・拡充により、アルコールを伴う飲食が行いやすい環境を構築し、地域経済回復の支援・促進につなげていく。
- ・供給が逼迫していたタクシー需要に対し、本事業の実施により代替手段を提供し、通常のタクシー運行における余力を生み出すことで、利用客の取りこぼしを防ぎ、タクシー事業者の事業体制維持に寄与する。また、通常のタクシー運行における余力を生み出すことは、夜間における医療機関への受診など、緊急を要する需要に対しての供給を確保することにもつながる。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)

- ・右図に示すとおり、共創パートナーが連携しながら、8月中旬の運行開始に向けて、実証事業の計画作成と準備を進める。
- ・実証運行の期間は8月中旬から2月下旬までの約半年とし、長い期間の実証運行により、事業のい実装に向けたフィージビリティ・スタディに必要なデータを取得する。
- ・事業検証は10月上旬開始とし、早めに検証し、本実証運行にフィードバックすることで、実証期間中においても改善を図る。

### (補助事業実施後の予定)

- ・補助事業期間後については、事業検証の結果を踏まえながら、改善すべき点は改善し、本事業と概ね同様な内容で事業を継続することを予定している。
- ・資金調達については、事業経費の低減および適正な運賃設定等を検討しつつも、夜間における公共交通を確保し、暮らしやすいまちづくりを推進する観点から、見附市地域公共交通活性化協議会で予算を確保する。
- ・今回の実証実験においては、飲食業界はPRの協力等をしてもらう予定であるが、今後デマンド利用者へ割引の実施や、デマンド利用者向けのプランを模索していくことを予定している。

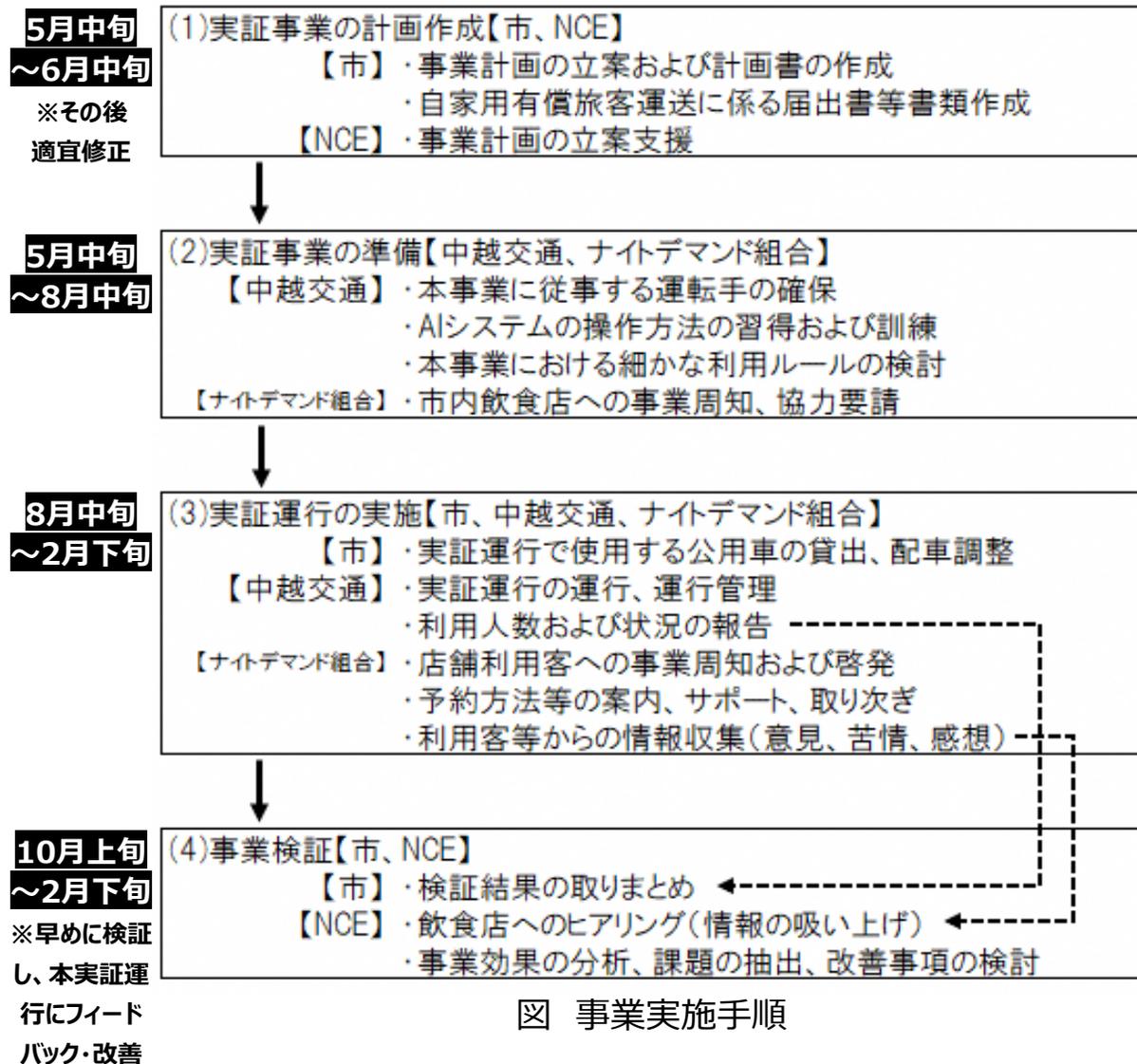


図 事業実施手順